



探究ニュース Access No. 33

発行日 令和6年1月31日

目次

- I 探究成果発表会に向けて
- II 48期中間発表会
- III 仲間たちの活動報告

I 探究成果発表会に向けて

年が明け、いよいよ3月16日(土)の探究成果発表会に向けて、1・2年とも探究活動の大詰めの時期を迎えています。1年生にとっては初めての探究成果発表会ですが、12月の中間発表会で先輩からもらったアドバイスを踏まえて、最後まで粘り強く、よりよい課題解決策を模索していきましょう。2年生の皆さんの多くは、この発表会がこれまでの探究活動の集大成となります。1年かけて取り組んできたテーマについて、皆さん一人一人が熱く語ってくれることを大いに期待しています。

現在、探究成果発表会に向けて、2年ゼミ長・副ゼミ長、1年プロジェクトリーダー・サブリーダーからなる実行委員会（総勢51人）が、運営係・論文係・パンフレット係に分かれ、実行委員総務の8人を中心に準備を進めているところです。今回新たな取り組みとして、他の都立高校や市内の中学校からもポスター発表に参加してもらうことになりました。お互いに充実した発表を行って良い刺激を与えあえるよう、発表会ぎりぎりまでブラッシュアップしていきましょう。



第1回実行委員会

総務メンバー



探究成果発表会 実行委員長・2年ゼミ長長

2年2組 関矢 彩生

皆さんこんにちは！探究成果発表会実行委員長の関矢です。

年も明け、いよいよ探究成果発表会当日が迫ってきました。皆さんの探究もいよいよ大詰めに入っている頃でしょうか？

47期生の多くは高校での探究活動が今年度で最後になります。長期にわたる研究や論文の執筆は難しいこともたくさんあったと思います。有終の美を飾るべく、最後まで自分の研究をより意義のあるものにできるように頑張ってください。

48期生にとっては初めての探究成果発表会になります。グループで探究をしていくことは難しく大変だと思いますが、自分たちの納得がいく成果を出せるように最後まで諦めず研究に励んでください。

最後に、今年度の探究成果発表会は他校からの学生さんもうらっしゃいます。参加する全員にとって学びのある有意義な会になるようにしていきましょう！！

探究成果発表会パンフ&ポスター、論文集サブタイトル 決定！

冬休み前に実行委員から募集のお知らせがあった探究成果発表会のパンフレット表紙・ポスターと論文集のサブタイトルに、それぞれ以下の作品が選ばれました。イラストもサブタイトルも東生らしく力作揃いでした。応募してくれた皆さん、ありがとうございました！



生徒・教員向けパンフレット表紙
1年 達下 真帆



来場者向けパンフレット表紙
1年 古山 明日実



ポスター
2年 塚元 悠唯

究める関心、繋がる感心

論文集 サブタイトル
2年 前田 倅弥

II 48期中間発表会

昨年12月18日、1年生は現在チームで取り組んでいる課題解決プロジェクトの中間発表として、同じプロジェクトの経験者である2年生の先輩たちをオーディエンスに迎え、自分たちが考える課題解決プランを発表し、アドバイスをもらいました。先輩やご指導くださっている企業の方、大学の先生方を前にしての発表は緊張したようでしたが、自分たちの取り組みを見直す良い機会となったと思います。

発表を通じて得た気付きをチームで共有し、成果発表会では更に磨きがかかった課題解決プランが発表できるよう、頑張っていきましょう。



〈1年生の感想から ～他の人の発表で、良かった点〜〉

- 専門用語を、初めて見る人にも分かりやすく、具体例をまじえて説明していた点。探究の方法が具体的だった点。
- 課題設定→仮説の流れがわかりやすく、さらに具体策を提示できていた班があり、とても説得力があると感じた。
- 疑問点からの序論、仮説、探究方法などの展開が滑らかで綺麗だなと感じた。
- 自分たちに身近な例があると分かりやすかった。内容が難しいのでユーモアがある発表がより話に入り込みやすかった。
- にこやかに、オーディエンスを楽しませようとする意識をもって発表していた点。スライドの中の話しているところを指し示す点。

〈2年生の感想から〉

- よく調べてあるチームの質疑応答では、新たな情報がたくさん出てくるのでとても充実した発表になっていた。また、社会にいかに関与できるかを示すのが難しそうなおもしろいプロジェクトもあったが、それが研究の必要性を示すので大切だと感じた。目的やいかに役立つかが明確な発表には興味を持って、新しい情報をたくさん得たいと思ったので、自分の探究にも活かしたい。
- どのグループも去年にはなかった興味深い視点から問いが立てられていて、発表を聞くのがとても楽しかったです。でも、探究方法や仮説を聞いて、少し、問いを結論づけるには物足りないと感じました。反対側の視点に立ってみたり、より多くの人々の意見をまとめてみたり、ほかに+αで付け足しができたら、今より一歩踏み込んだ研究にすることができると感じました。



Ⅲ 仲間たちの活動報告

Teams HSCでは、外部で行われるイベントやコンテストのお知らせを数多く配信しています。昨年も多くの仲間が様々な企画に参加しましたが、その中からいくつかご紹介します。

探究で取り組んできたことを活かして外部のコンテストに応募してみるもよし、何となく興味を持ったイベントに参加してみるもよし。ちょっと勇気を出して一歩踏み出すことで、きっと多くのものが得られることと思います。自分の世界や視野を広げるために、ぜひ積極的にチャレンジしてみましょう！

東京理科大学 坊っちゃん科学賞 優良入賞 「藍のトリプタンスリンによる抗菌効果とその応用」 チーム Fall in 藍(ラブ)



●この研究では、藍に含まれるトリプタンスリンによる抗菌効果を実験で証明し、マスクなど実用的なものへの応用を考えました。藍を育てることから始めましたが、なかなか育たなかったり、麹菌に対して抗菌効果がなかったりと、予想外の行き詰まりとても苦労しました。しかし、その失敗の原因を突き止め実験を重ねることで、抗菌効果を証明でき、満足のいく結果になりました。

●種から藍を育て、毎朝学校に来ては藍に「おはよう」と言うようにしていました。藍に“Fall in 愛”してしまった私たち“Fall in 藍”は、皆様に、そして藍に、感謝でいっぱいです。慣れない論文制作や実験に苦労することもありましたが、非常に良い経験になりました。今回の大会で得られたことを活かしてこれからも頑張りたいです。

第1回ネイチャー甲子園 動画クリエイト部門 決勝大会出場 「【高尾山】紡ぎ 繋ぎ 継いでゆくひとときを」 チーム 八王子のジュピター 2年 小山和奏 光辻知香

全国87チームのうち、6チームが進出！

●とにかく登山と動画編集が大変でした。登山は疲れるし、汗もたくさんかくし、体力テストDの私にとっては本当に大変でした。動画編集も未経験だったのではじめは難しくて全然できませんでした。しかし、相棒のあのエネルギーでおかしなキャラクターに何度も救われて、山頂まで登りきることができました。多くの方のサポートと協力があったからこそ成し遂げられた動画です。そして登山5回分の気持ちがこもった動画でもあります。みなさん、そして特に相棒には感謝しかありません。この大会に参加できて本当に良かったです。(小山)

●私はこの活動に誘われたとき、『みっつー、女優にならないかい??!』と言われました。即答でYESと答えたとき、私はここに文章を載せることになるとは思っていませんでした。ここまで来るのは長かったです。沢山の人に取材のアポを取ったり、日程を調節したり、向こうに伝達がうまく行かなかったり、女優になったり、土曜授業終わりに高尾山に登ったり、エトセトラエトセトラ…。とにかく沢山の人に迷惑をかけ、恥もたくさんかきました。でも、私もあのエネルギーでおかしくて面白い相棒に何度も救われ、アポ取りをあきらめずにやり遂げられました。ああ、相棒がこの人で良かった。今も思ってます。これまでご協力いただいた、先生、父、登山客の皆さん、高尾山ビジターセンターの方、高尾山薬王院の方々には感謝の思いでいっぱいです。そして、相棒よ。誘って、支えてくれてありがとう。この思いを大事に、決勝で高尾山の魅力を伝えるため、頑張ります。(光辻)



決勝大会

2月11日(日祝)

大阪 花博記念ホール

※オンライン視聴可！

ネイチャー甲子園HPより申込

台湾研修旅行

2学期終業式翌日から4泊5日で、20人の仲間が台北と高雄を訪問しました。現地では、台北市内の視察のほか、姉妹校の高雄高級中学の皆さんと交流して、良い刺激を沢山受けてきました。

●高雄高級中学の生徒の皆さんとの交流が印象に残りました。まず驚いたのは、生徒全員が英語を流暢に話していたことです。ネイティブの方と話しているかのように感じた程でした。また、私たちに本当に親切にしてくれました。一緒に英語で授業を受けた時は、その内容をあまり聞き取れなかった私にも分かるように、丁寧に説明してくれました。この交流で台湾の皆さんの温かさを感じたと同時に、英語で自分の思いを十分に伝えきれない歯がゆさを感じました。この経験を糧に、異文化の方々とコミュニケーションを取る力を磨いていきたいと思えます。（2年 熊谷美海）



Speech by the Students

Hachioji Higashi High School,
Miu Kurokawa, Nanami Yamada



●日本とはまた違った人々の暮らしや食、文化など多くの刺激を受けた五日間でした。特に高雄高級中学の生徒の皆さんと交流した時には、自分の伝えたいことが相手に通じたことに喜びを感じる一方でもっと理解できたらともどかしく思いました。交流を通じて違いだけでなく、趣味や考え方に共通点も多くあり、実際に足を運ばなければ得られない経験ばかりでした。今後は自分の英語力を向上させていくことももちろんのこと、様々な国や文化に理解を深め、言語を超えて繋がりを広げていきたいです。（2年 山田奈々葉）

高倉大根 沢庵完成！

地元の農家の方に教わりながら、八王子市特産の高倉大根を種から育てて沢庵にする「高倉大根プロジェクト」。今年は大根が少し小さめでしたが、美味しい沢庵が出来上がりました！



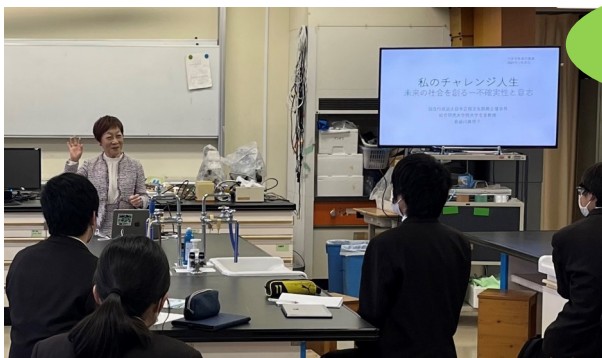
9月 種蒔き
↓
生育不良で
追い蒔き
↓
10月 間引き



12月
収穫！
天日干し
↓
漬け込み



1月
完成！
早速 味見



講演会報告

今年度は延べ8人の講師の先生方に講演していただきました。

どの先生もその道の専門家で、ご多忙にもかかわらず、八王子東生のために時間を割いて、貴重なお話を聞かせてくださいました。

1月20日に行われた長谷川先生のご講演では、高校生へのメッセージとして、「失敗を恐れずやってみること」「本物を見、常に大きな枠組みを考えること」「ポジティブ思考で人生を送ろう！」といったお言葉をいただきました。

1月20日 日本芸術文化振興会 理事長
長谷川真理子先生

皆さんも、少しでも興味を持った企画に出会ったら
ぜひ臆さずチャレンジしてみましょう！